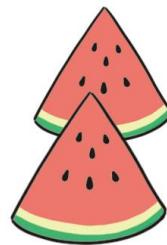




医務室だより 8月



前期試験も終盤に入り、ホッと一息ついていることと思います。
もうすぐ楽しみにしている長期休暇ですね！アウトドアでの活動も予定されているのでは！？
今回のテーマは、虫刺されです。楽しく休暇を過ごすための予防策として参考にしてください。

夏に注意！皮膚トラブル 虫刺され

刺咬症 ハチ

ハチは人を刺す虫で、スズメバチ類・アシナガバチ類・ミツバチ類がいます。
ハチは人が巣に近づくと敵と認識し、巣や幼虫を守るために刺してきます。



ハチに刺されたら

・ミツバチ類以外は、刺されたところを流水で洗い、観察してください。
・ミツバチに刺された時は、皮膚に毒針が刺さったまま残るので、毛抜きやピンセットでなるべく早く取り除き、患部を冷却しましょう。
症状がひどい時には、医療機関を受診しましょう。

ミツバチに刺されたらすぐに針を抜く！
針を抜く時は、絶対に毒のうに触れない！
毒のうを圧迫すると、さらに毒が体内に入ってしまいます。

同じ種類のハチに2回以上刺されたら、注意！

ハチの毒によるアナフィラキシー反応は刺されて15分以内に起こることが多く、全身にじんましん
息苦しい、気分が悪くなる、嘔吐、けいれんなどの症状がおきた場合はすぐに救急車を呼びましょう。



刺咬症 マダニ



今年6月愛知県でマダニに刺され2人が死亡しています。

マダニは人や動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間吸血しますが、噛まれても痛みやかゆみをほとんど感じないため、気づかない場合も。皮膚についたマダニはひっぱても除去できず、無理に引きはがすと炎症や感染を起こします。
医療機関を受診しましょう。



怖い病気を発症することも

マダニに咬まれた後に、日本紅斑熱やツツガムシ病、ライム病、重症熱性血小板症候群、ダニ媒介脳炎を発症することがあります。マダニに咬まれた後、**数週間程度は体調の変化に注意**し、発熱等の症状が認められた場合は**医療機関で診察**を受けましょう。

野外活動での対策

- ・肌の露出を少なくする ⇒ 帽子、手袋着用し、首にタオルを巻く等
- ・長袖・長ズボン・登山用スパッツの着用
⇒ 袖や裾は手袋や靴下の中に！
- ・足を完全に覆う靴を履く ⇒ サンダル×
- ・明るい色の服を着る
⇒ 蚊やハチは黒など濃い色に寄る習性があり、マダニは確認しやすい
- ・虫よけスプレーの活用 ⇒ 日焼け止めの上から虫よけスプレーを！
成分はDEETとイカリジンがあります。イカリジンは蚊・ブヨ・アブ・マダニに効果があります。DEETはツツガムシにも効果がありますが、6か月未満は使用できず12歳未満には使用回数制限があります。

